

看取りについて

訪問看護ステーション



「あなたは、最期はどこで過ごしたいと思いますか？」

病院や施設で長く過ごして
いた人でも、最期は我が家に
帰りたい、自宅で家族に看取
られて旅立ちたいと考える人
は少なくないと思います。

私たちは、住み慣れた地域
で安心して過ごせるように看
護とリハビリを通じてお手伝
いさせていただいています。
計画的にお宅に伺うだけでな
く、24時間365日、必要に
応じた訪問に加え、看取りに
も対応しています。

看取りとは

終末期（老衰や病気、障が
いなどの進行によって、あら
ゆる医療がすでに効果的でな
く、余命が数か月以内と判断
された後の時期）を迎えた人
のそばで世話をし、最期を見
届けることをいいます。

最終段階の過ごし方、最期
をどこで迎えるか、本人・
家族間で思いを共有してお
きましょう

国の調べによると、最期を
自宅で迎えたいという人が全
体の過半数を占めており、延
命治療については90%以上の

人が「延命のみを目的とした
治療は行ってほしくない」と
答えています。

医療技術が進歩し、高度な
治療や延命措置などの選択肢
も沢山ありますが、誰しも死
は避けられません。「できる
だけ長く生きたい」「過度な
延命はせず、最期を迎えたい」



というどちらの気持ちもわか
ります。医師から病状の説明
を聞き、状態を理解したうえ
で、最期をどこで迎えるかを
決定していくことも大切に
す。

「最期の時間を自宅で過ご
し家族に看取られたい」とい
う本人の思いがある時は、ま
ず、家族間で共有しましょう。
次ページでは「自宅で最期
を迎えたい」という希望があ
る皆さん、叶えたい家族が意
識すべき3つのポイントを紹
介します。